

平成 2 1 年度病虫害発生予察特殊報第 1 号

平成 2 1 年 9 月 1 7 日
鳥取県病虫害防除所

- 1 病虫害名 キクノネハネオレバエ *Psila nigricornis* Meigen, 1826
- 2 発生作物 ニンジン
- 3 発生地域 鳥取市
- 4 発生確認の経過
 - (1) 平成 2 0 年 1 2 月、鳥取市のニンジン栽培ほ場において根部に食入被害がみられ、中を割ってみるとハエの幼虫が寄生していた。鳥取大学を通じて同定を依頼したところ、帯広畜産大学岩佐光啓教授によりキクノネハネオレバエと同定された。
 - (2) 本種は、ヨーロッパ、北アメリカ、ロシアに分布し、国内では 1 9 8 8 年 4 月に神戸で初めて採集され、1 9 9 1 年に国内最初の記録として発表されている。ニンジンの加害は、2 0 0 5 年に愛知県、2 0 0 7 年に三重県で確認され、それぞれ特殊報を発表している。
- 5 形態および生態
 - (1) 成虫の体長は約 4mm、体色は光沢のある黒緑色、頭は赤黄色、脚は黄色。老熟幼虫の体長は約 7mm、体色は黄色味を帯びる。
 - (2) 生態についてはよくわかっていない。ヨーロッパでは、キク科植物の根が本種の幼虫により加害されることが知られている。
- 6 被害
幼虫がニンジンの根部表面近くを食害する。根の芯部への食入はあまりみられない。
- 7 防除対策
 - (1) 被害根等の収穫残渣は、ほ場内に残さず適正に処分する。
 - (2) 現在、ニンジンのキクノネハネオレバエに登録のある薬剤はない。
 - (3) 疑わしい症状が確認された場合は、病虫害防除所に連絡する。



写真1 キクノネハネオレバエによる被害



写真2 キクノネハネオレバエ幼虫



写真3 キクノネハネオレバエ成虫
(左：雄、右：雌)

写真3：三重県病害虫防除所提供